

太陽光発電検討部会 委員提案モデル一覧

No.	提案モデル	内容等	課題等
1	太陽光発電システム 設置費削減対策	<p>■住宅用太陽光発電の分割払い方式</p> <p><設定条件></p> <ul style="list-style-type: none"> ・システムの出力4kW ・制度での設置件数220件/年 ・設置者の当初負担金50万円 ・設置者支払い回数60回(5年) ・設置者月々支払い金額25000円 <p><基金及び積立金の活用></p> <ul style="list-style-type: none"> ・県が基金を創設(公営企業局再エネ利活用補助金を変更) ・市町村は、1件あたり基金への定額負担 	<ul style="list-style-type: none"> ・県基金の積み立てが可能か ・市町村が負担金を負担できるか
2	太陽光発電(家庭普及) の地元産業振興循環シ ステム	<p>■住宅用太陽光発電のリース方式</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地元企業等による運用管理センターを創設 ・地銀等による融資で資金調達 ・住宅用太陽光発電の0円設置 ・自家消費分の環境価値を証書等で活用 ・県、市町村は補助金や減税措置 	<ul style="list-style-type: none"> ・実施主体 ・グリーン電力証書のニーズはあるか ・自治体の支援は可能か
3	太陽光発電リース会社	<p>■太陽光発電のリース事業及び管理会社の設立</p> <ul style="list-style-type: none"> ・太陽光発電開発会社の設立 ・開発会社は太陽光発電システムのリース業(設置)を主たる業務とする ・地域ごとに地域管理会社を設立 ・県民や県内企業の出資による資金調達 ・10年間のリース契約、それ以降は無償譲渡 	<ul style="list-style-type: none"> ・実施主体 ・地域管理会社は可能か
4	さんSun20プロジェクト	<p>県内消費電力の2割を太陽光発電で賄う</p> <ul style="list-style-type: none"> ・住宅用0円ローンの創設 ・事業所及び公共施設への場所借り ・土佐くろしお鉄道高架橋、高速道路法面利用 ・補助制度、減税措置の検討 	<ul style="list-style-type: none"> ・実施主体 ・公共施設利用の調整 ・自治体の支援は可能か
5	初期費用ゼロ	<p>■初期負担額0円での太陽光発電の導入</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3kW、4kW、10kW、20kW等規模を限定 ・10年間の分割払いのリース方式 ・10kW未満の住宅用は、余剰電力売電及び自家消費分の電気料金の削減効果で、実質負担額8,000円程度 ・10kWを超えるものは、固定価格買取制度適用で実質負担額15,000円程度 	<ul style="list-style-type: none"> ・実施主体 ・金利負担をどのように削減するか ・ニーズはあるか